

センターの活動



令和7年度 文化財保存修復研究センター 研究員の活動報告

① 公刊図書等、②③④ 報告書・論文・解説等、⑤⑥ 学会発表・講演会等、⑦ 所属学会・委員等、⑧ 研究等、⑨⑩ 科研費・研究助成、⑪ その他

北野博司 KITANO Hiroshi (センター長・教授)

- ③ 論文 2026. 3 「元和7年に行われた徳川期大坂城石垣修築工事の組織と技術」『東北芸術工科大学紀要』No.33 pp. 1-16
- ④ テレビ出演 NHKBS ザ・バックヤード「文化財保存修復研究センター」26. 3. 13
- ⑥ 講演 2025. 7 「石垣普請の風景をよむー公儀普請の石切りと石積みの現場ー」文化財石垣保存技術協議会総会 日本城郭研究センター
- ⑥ 講演 2025. 7 「石垣修理で伝える歴史の証拠とは何か」令和7年度文化財石垣保存技術協議会技能者養成研修(講義研修)文化財石垣保存技術協議会総会 日本城郭研究センター
- ⑥ 講演 2025. 9 「石垣の歴史の中にみる中世の石垣」石づくりのまち・中世平泉寺ー「中世宗教都市」と技術・くらしー 勝山市教育委員会 白山平泉寺歴史探遊館
- ⑥ パネラー 2025. 11 「上田城トークショーー石垣から見る上田城の歴史と未来ー」上田城復元推進協議会 上田映劇
- ⑥ ガイドツアー 2025. 11 「歩いて楽しむお城と石垣」上田城をめぐるツアー 同上
- ⑦ 学会 日本考古学協会、日本文化財科学会、文化財石垣保存技術協議会
- ⑦ 委員会 史跡等における歴史的建造物の復元の取扱いに関する専門委員会(文化庁)、平城宮跡及び藤原宮跡等の保存整備に関する検討委員会(文化庁)、元離宮二条城保存整備委員会記念物部会(京都市)、熊本城文化財修復検討委員会(熊本市)、「佐渡島の金山」世界文化遺産学術委員会ほか
- ⑨ 科研 「公儀城郭普請の生産・管理システムに関する考古学的、歴史学的研究の融合(研究代表者)」、「西アジアの古代文明における薬草利用の解明:土器附着炭化物からの薬効成分の検出(研究分担者)」、「なぜ城郭井戸が水が溜まりにくい石垣脇に設けられているのかー防災機能の検証ー(研究分担者)」

伊藤幸司 ITO Kouji (教授) 保存科学

- ④ 記事 カガクなお仕事物語『かがく組 6年生』9号 pp. 51-56 ベネッセコーポレーション 25. 12
- ④ テレビ出演 NHKBS ザ・バックヤード「文化財保存修復研究センター」26. 3. 13
- ⑤ 学会発表 「出土水浸遺物保存処理のための着想・研究・実践」(伊藤幸司) 日本文化財科学会第42回大会発表要旨集 九州大学 25. 7. 5-6
- ⑤ 学会発表 Comprehensive study on the conservation treatment of shipwrecks using trehalose (Akira Kobayashi, Kouji Ito, Yumi Yasuki, Setsuo Imazu) Wet Organic Archaeological Materials 2025 ICOM-CC Sweden 25. 9. 15-19
- ⑤ 学会発表 「地域社会と協働する鉄製文化財の保存処理」(伊藤幸司) 東アジア文化遺産保存学会第9回国際学術シンポジウム 中国 成都 25. 10. 30-11. 1
- ⑤ 学会発表 「トレハロース法による元寇沈船隔壁板の保存処理と処理後の経年変化」(小林啓、安木由美、伊藤幸司) 東アジア文化遺産保存学会第9回国際学術シンポジウム 中国 成都 25. 10. 30-11. 1
- ⑥ 講習会 Research and Practice on Waterlogged objects by Trehalose Conservation method (Kouji Ito) Workshop on Mastering the Trehalose Impregnation Method Istanbul University 25. 5. 5
- ⑥ 講習会 Research and Practice on Waterlogged objects by Trehalose Conservation method : Basic Techniques (Kouji Ito) Workshop on Mastering the Trehalose Impregnation Method The International Centre for Underwater Archaeology in Zadar 25. 5. 7
- ⑥ 講習会 Research and Practice on Waterlogged objects by Trehalose Conservation method : For Iron Objects (Kouji Ito) Workshop on Mastering the Trehalose Impregnation Method The International

Centre for Underwater Archaeology in Zadar 25. 5. 8

- ⑥講習会 Research and Practice on Waterlogged objects by Trehalose Conservation method ; For Iron Objects (Kouji Ito) Joint Workshop on New Conservation Techniques Using the Trehalose Method for Iron Artifacts National Museum of Malaysia Lukut Museum 25. 10. 19-24
- ⑥講習会 Research and Practice on Waterlogged objects by Trehalose Conservation method ; For Wood Objects (Kouji Ito) Workshop on Mastering the Trehalose Impregnation Method in Hanoi Research Institute of Forest Industry 25. 12. 8-9
- ⑦所属学会 日本文化財科学会、文化財保存修復学会、トレハロース含浸処理法研究会
- ⑦委員会等 大坂城豊臣石保存公開委員会、松浦市鷹島海底遺跡調査指導委員会、史跡關鷄山古墳保存科学ワーキンググループ
- ⑨科研 「海底出土複合遺物の保存・展示・活用に関する総合的研究」(研究分担者)
- ⑨科研 「トレハロースによる出土鉄製品の腐食抑制効果の研究」(研究代表者)

笹岡直美 SASAOKA Naomi (准教授) 古典彫刻・立体作品修復

- ④テレビ出演 NHKBS ザ・バックヤード「文化財保存修復研究センター」26. 3. 13
- ⑤学会発表 「近世群像仏像の制作技法の研究－善寶寺五百羅漢像X線CT調査の成果－」(笹岡直美、伊藤幸司) 文化財保存修復学会第47回 富山国際会議場 25. 6. 14
- ⑥講習会 「山形県文化財日常管理・防災研修会(仏像)」(笹岡直美) 伝国の杜置賜文化ホール 25. 9. 6
- ⑥講習会 令和7年度山形県文化財保護行政関係者連絡会「文化財の保存環境等に係る研修－日常管理へのアドバイス」(笹岡直美) 東北芸術工科大学 25. 8. 6
- ⑦所属学会 文化財保存修復学会
- ⑨科研 「近世仏像制作における錐点用法の検討－京都仏師畑次郎右衛門の作例を基準とした実証－」基盤C(研究代表者)
- ⑨科研 「ハワイ日系仏教寺院の文献資料および文化財の体系化と活用による仏教史研究」(研究分担者)

元 喜載 WON Heejae (准教授) 東洋絵画修復

- ④記事 「剥落止め」襖絵の修復行う 朝日新聞, 25. 09. 14
- ④記事 文化交流にも力安達博士の足跡 山形新聞, 26. 03. 20
- ④記事 安達峰一郎収集品を修復 朝日新聞, 26. 03. 31
- ④テレビ出演 NHKBS ザ・バックヤード「文化財保存修復研究センター」26. 3. 13
- ⑤学会発表 2024年7月豪雨で被災した新庄ふるさと歴史センターの資料レスキュー－山形文化遺産防災ネットワークの活動を中心に(土屋明日香、佐藤琴、川田健介、松井敏也、岸創哉、中野実歩、宮本晶朗、元喜載) 文化財保存修復学会第47回 富山国際会議場 25. 6. 14-15
- ⑥講習会 図書資料の取り扱いについて(元喜載) 日本財団NDL蔵書デジタル化拠点 資料の取扱い等に関するオンライン研修会 Zoom 25. 6. 25
- ⑥講習会 山形県市町村担当者講習会「東洋絵画編」(元喜載) 山形県文化財日常管理・防災研修会 「わくわく新庄」 25. 11. 29
- ⑦所属学会 文化財保存修復学会
- ⑦委員会等 山形県指定文化財保存実態調査・調査員

杉山恵助 SUGIYAMA Keisuke (教授) 東洋絵画修復、装潢文化財修理

- ②報告 上杉文書の形状と課題－冊子装の解体作業からみる装丁の来歴と保存方針－『上杉文書調査報告書－第一分冊 文書編－』 pp. 41-46 米沢市教育委員会 26. 3
- ④テレビ出演 NHK青森「海をこえたふすま絵～日本美術の魅力と魔力～」 25. 5. 27
- ④テレビ出演 NHKBS ザ・バックヤード「文化財保存修復研究センター」26. 3. 13
- ⑤学会発表 海外インターンシップ報告－スミソニアン研究機構 米国立アジア美術館東洋絵画修復室に

において－（上田二郎, 中原瑠星, 丹羽秋子, 杉山恵助）「文化財保存修復学会第47回大会」 富山県民会館 25. 6. 14

- ⑥講習会 Workshop : EAST MEETS WEST Traditional Japanese techniques and materials for paper conservation Training course（紙資料修復のための伝統的日本修理技術・材料ワークショップ） Institut für Bestandserhaltung und Restaurierung (IBR)（バイエルン州立図書館 保存修復研究所） 25. 8. 25-29
- ⑥講義 Weat Starch Paste 国際研修「ラテンアメリカにおける紙の保存と修復」2025 メキシコ国立人類学歴史機構国立文化遺産保存修復調整機関 25. 11. 13
- ⑦所属学会 文化財保存修復学会、Institute of Conservation
- ⑦委員会等 東京文化財研究所 文化遺産国際協力センター 客員研究員、山形県米沢市上杉文書調査委員、山形県指定文化財保存実態調査・調査委員、文化財保存修復学会 理事・学会誌編集委員

中右恵理子 NAKAU Eriko（教授）西洋絵画修復

- ④記事 文化交流にも安達博士の足跡 山形新聞, 2026. 03. 20
- ④記事 安達峰一郎取集品を修復 朝日新聞, 2026. 03. 30
- ⑦所属学会 特定非営利活動法人文化財保存支援機構、文化財保存修復学会、明治美術学会
- ⑧教育 昭和音楽大学 学芸員資格課程 非常勤講師

宮本晶朗 MIYAMOTO Akira（准教授）立体作品修復

- ④編集（渡邊真吾、新目巖、村山賢司、武田美和、高橋洋二、石井智也）「図録 杉下地区と世尊寺 地域が紡いだ祈りの歴史」, 62p 杉下地区と世尊寺」展実行委員会 25. 10. 4
- ⑥講習会 「大人のための仏像修復体験！専門家と考える失われた形」「夏芸大」 東北芸術工科大学 25. 8. 4
- ⑥講演 「歴史遺産を守るさまざまな形－仏像修復と地域文化財の看取り－」「歴史遺産学研究会総会第1回歴史遺産特別シンポジウム：仏像修復にみる歴史遺産の継承の形－歴史遺産学を考える－」 京都芸術大学 25. 11. 1
- ⑦所属学会 文化財保存修復学会
- ⑦委員会等 白鷹町文化財保護審議会、大槌町文化財保存活用地域計画協議会
- ⑧教育 山形大学地域教育文化学部非常勤講師、東洋美術学校保存修復科外来講師

村上智見 MURAKAMI Tomomi（准教授）保存科学

- ①公刊図書 「「米国」の寺院跡と出土遺物——クルドル・テパ、クルゴン・テパ及びその他の遺跡から」アリシエル・ベグマトフ、村上智見、アリシエル・サンディボエフ『シルクロードの商人語り－サマルカンドの遺跡とユーラシア交流』創元社 pp. 72-73 26. 3
- ①公刊図書 「シルクロードを通じて運ばれた織物」 村上智見『シルクロードの商人語り－サマルカンドの遺跡とユーラシア交流』創元社 pp. 96-97 26. 3
- ②報告 令和7年度考古学が語る古代オリエント－西アジア遺跡調査報告会報告集（村上 智見, ベグマトフ・アリシエル, サンディボエフ・アリシエル, アリモフ・ナヴルズ, ベルディムロドフ・アムリディン, アスラノフ・アブデウヴァリ, 寺村 裕史, 宇野 隆夫, 末森 薫, 押鐘 浩之）ソグディアナの都市を探る－ウズベキスタン共和国クルドル・テパ遺跡発掘調査（2025年度）, pp. 116-120 26. 3
- ③論文 Asian Review of World Histories (Alisher BEGMATOV, Tomomi MURAKAMI, Alisher SANDIBOEV) Discovery of a Temple at Kuldor-Tepa in Uzbekistan, pp. 1-20 25. 7
- ⑥講演 ウズベキスタンの発掘調査－2つの拝火寺院の発見－ 市民公開国際シンポジウム 国境を越えた研究者への道－シルクロードと奈良を繋ぐ奈良大学の人材育成－ 奈良大学 2025年5月31日
- ⑥講演 シルクロードのソグド都市と文化交流－拝火寺院の調査成果を中心に－ 明治大学博物館友の会講演会 明治大学博物館 2025年10月31日

- ⑥発表 ウズベキスタン共和国出土壁画の調査－クルゴン・テパ遺跡とクルドル・テパ遺跡－（村上 智見, 成瀬 正和, 鶴 真美, ベグマトフ・アリシエル, サンディボエフ・アリシエル, ベルディムロドフ・アムリディン, レウトヴァ・マリナ） 日本文化財科学会第42回大会 九州大学伊都キャンパス 2025年7月5・6日
- ⑥発表 ソグディアナの都市を探る－ウズベキスタン共和国クルドル・テパ遺跡発掘調査（2025年度）（村上 智見, ベグマトフ・アリシエル, サンディボエフ・アリシエル, アリモフ・ナヴルズ, ベルディムロドフ・アムリディン, アスラノフ・アブデュヴァリ, 寺村 裕史, 宇野 隆夫, 末森 薫, 押鐘 浩之） 令和7年度考古学が語る古代オリエント－西アジア遺跡調査報告会 東京文化財研究所 2026年3月22日
- ⑦所属学会 日本西アジア考古学会、日本文化財科学会、東アジア文化遺産保存学会
- ⑨科研 中央ユーラシア出土品の検討に基づく西域の絹に関する研究－織物産地同定を目指して－（研究代表者）
- ⑨科研 シルクロード都市における宗教の伝播と受容・変容に関する考古学的研究（研究分担者）

青野友哉 AONO Tomoya（教授）考古学

- ②報告 「酒田市生石2遺跡発掘調査概要報告5」（青野友哉、佐藤祐輔、渡部裕司）『歴史遺産研究』20 pp. 49-54 26. 3
- ②報告 「有珠モシリ遺跡発掘調査概要報告6」（青野友哉、永谷幸人、三谷智広）『歴史遺産研究』20 pp. 55-64 26. 3
- ②報告 （青野友哉・永谷幸人編）『USUMOSHIRI I 遺構・遺物編』 pp. 1-112 26. 3
- ③論文 「骨角製装身具類の地域様相 北海道島（縄文・続縄文期）」『季刊考古学』171 pp. 19-22 25. 4
- ⑤学会発表 「縄文時代は平和だったのか？－受傷痕からみる縄文時代の争い－」（青野友哉）日本考古学協会第91回総会 筑波大学 25. 5. 25-27
- ⑤学会発表 「Distinguishing between Locals and Migrants During the Jomon Period Using Fluoride Concentration in Deciduous Teeth.」（Tomoya Aono., Kazuhisa Yoshimura.）The Tenth World Archaeological Congress Flinders University, Darwin, Australia 25. 6. 22-28
- ⑤学会発表 「Changes and Characteristics of Fish Utilization in the Coastal Areas of Uchiura Bay (Funka bay), Hokkaido, Japan.」（Tomohiro MITANI., Tomoya AONO., Yukihiro NAGAYA.）The Tenth World Archaeological Congress Darwin, Australia 25. 6. 22-28
- ⑤学会発表 「北海道における縄文晩期の貝塚調査と古環境復元」（青野友哉・三谷智広）日本動物考古学会第12回大会 沖縄国際大学 25. 7. 12-13
- ⑤学会発表 「北海道噴火湾沿岸における動物利用の変遷」（三谷智広・青野友哉・永谷幸人）日本動物考古学会第12回大会 沖縄国際大学 25. 7. 12-13
- ⑤学会発表 「北海道島・続縄文期の骨角貝製装身具類」（青野友哉）シンポジウム 骨角製装身具類からみた弥生社会 あいち朝日遺跡ミュージアム 25. 11. 30
- ⑤学会発表 「廃屋墓とはなにか」（青野友哉）シンポジウム 埋もれた家に眠る人骨－根郷貝塚で見つかった5,000年前の廃屋墓のなぞに迫る－ きらり鎌ヶ谷市民会館 26. 3. 8
- ⑥講演 「高校生のための！ 縄文ホネホネ講座～骨から読み解く人類史～」（青野友哉）夏芸大 東北芸術工科大学 25. 8. 8
- ⑥講演 「墓制からみた縄文時代の社会」（青野友哉）第2回宮畑講演会 じょーもびあ宮畑 25. 11. 1
- ⑥講演 「縄文デザイン アイヌデザイン」（青野友哉）苫小牧市美術博物館講演会 苫小牧市美術博物館 26. 2. 28
- ⑥講義 「【模擬授業】地域の宝「文化財」の守り方と活かし方を考えよう」（青野友哉）宮城県立仙台西高等学校 25. 7. 10
- ⑥講義 「芸術大学で歴史を学ぶメリットとは！」（青野友哉）仙台市立仙台高校 26. 3. 23
- ⑦所属学会 日本考古学協会、日本文化財科学会、山形県考古学会、日本人類学会、日本動物考古学会、考古学研究会、北海道考古学会

- ⑦委員会等 福島県立博物館収集展示委員会委員、史跡小山崎遺跡整備検討委員会委員、日本人類学会会誌編集委員、日本文化財科学会会誌編集委員、日本動物考古学会渉外担当幹事、考古学研究会全国委員
- ⑨科研 「受傷人骨の骨科学分析による縄文終末期の埋葬原理と社会変容の解明」(研究代表者)
- ⑨科研 「DNAバーコード技術の考古学領域への応用とその実証」(研究分担者)
- ⑨科研 「考古学的方法による先史人類における社会構造の研究」(研究分担者)
- ⑨科研 「骨考古学とDNA分析から読み解く「縄文村1000年間のファミリーツリー」」(研究分担者)
- ⑨科研 「山形県日向洞窟から出土した後期更新世－完新世初頭人骨群の考古科学的研究」(研究分担者)

佐藤祐輔 SATO Yusuke (歴史遺産学科) 考古学

- ②報告 「酒田市生石2遺跡発掘調査概要報告5」(青野友哉、佐藤祐輔、渡部裕司) 『歴史遺産研究』 20 pp. 49-54 26. 3
- ③論文 東北地方南部の儀礼具(佐藤祐輔) 『古代文化』 73(4) 25. 3
- ③論文 動向 弥生時代(佐藤祐輔) 『史学雑誌』 134(5) 25. 5
- ⑤学会発表 上大作裏遺跡から弥生中期後葉の地域的特徴を考える(佐藤祐輔) 山形考古学会春季研究大会 25. 6. 15
- ⑤学会発表 東北南部の現状と課題(佐藤祐輔) 弥生時代研究会シンポジウム「石器時代にも稲あり」100周年 多賀城市 25. 12. 7
- ⑤学会発表 東根市蟹沢遺跡・尾花沢市谷地橋遺跡の発掘調査概報(佐藤祐輔・阿部明彦・桑原葵・小関優美・杉山ななせ・廣川真実) 山形県考古学会研究大会 山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館 26. 2. 21
- ⑥講演 先史時代の石器づくり(佐藤祐輔) 山形県立博物館令和7年度第3回博物館講座 山形県立博物館 25. 9. 20
- ⑥講演 東北地方の弥生文化の特徴(佐藤祐輔) 大崎市文化財講演会 大崎市立図書館 25. 11. 23
- ⑥発表 酒田市生石2遺跡(佐藤祐輔) 山形県発掘調査速報会 東根市 26. 3. 8
- ⑥講演 東北地方の縄文/弥生祭祀具の伝統性と変質(佐藤祐輔) 令和7年度特別展「謎多き縄文晩期」関連講座 千葉市 26. 1. 25
- ⑦所属学会 日本考古学協会、山形考古学会、奥三面を考える会、弥生時代研究会
- ⑦委員会等 日本考古学協会埋蔵文化財保護対策委員会、尾花沢市延沢銀山遺跡保存活用計画策定委員会
- ⑨科研 東北系弥生土器の「搬入」・「模倣」にみる地域間関係(研究代表者)

令和7年度 客員研究員の活動報告

(五十音順)

①所属（勤務先・職名等）、②研究分野、③令和7年度研究内容、④令和7年度研究活動内容（調査・修復・保存処理・制作・分析・共同研究等）、⑤学会発表・講演・論文・報告書等、⑥その他（特記事項）

石崎武志

- ①東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター・客員研究員／東京文化財研究所・名誉研究員
- ②遺跡の保存
- ③青森県三内丸山遺跡の子供の墓の保存に関する調査および寒冷地の土遺構の劣化の主要因となっている凍上現象の研究
- ④本年度は三内丸山遺跡の子供の墓に生じたキノコの生育原因を明らかにするために、周辺木材の調査を行った。また、寒冷地の土遺構の劣化の主要因となっている凍上現象に関する実験データを整理し、学会等で成果報告を行った。
- ⑤学会発表：石崎武志「凍上現象における部分凍結領域（フローズンフリッジ）の含水率の推定」地盤工学会、山口、2025年7月24日
学会発表：T.Ishizaki, STUDY ON THE CONSERVATION MEASURES FOR THE STONE CIRCLES OF THE WASHINOKI ARCHAEOLOGICAL SITE IN HOKKAIDO, JAPAN, 15th International Congress on the Deterioration and Conservation of Stone, Paris 8-12 September 2025
学会発表：石崎武志、佐藤嘉則、轟丈瑠、西澤智康「土遺構の保存に関する総合的研究－三内丸山遺跡の事例－」東アジア文化遺産保存学会、成都、2025年10月30日-11月1日
学会発表：石崎武志「土の凍結過程において飛び飛びのアイスレンズが生ずるメカニズム」低温科学研究所・氷科学研究会共同研究集会「H2Oを科学する・2025」札幌、2025年12月8日-9日
- ⑥文部省科学研究費基盤研究B 研究代表「三内丸山遺跡の土遺構の保存に関する総合的研究」2022-2025年度

井戸博章

- ①東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター・客員研究員／東北芸術工科大学・非常勤講師
- ②文化財保存修復彫刻
- ③みちのくアカデミア発スタートアップ共創プラットフォーム／R7みちのくGAPファンド「アートコレクションの保存修復と継承」
- ④善寶寺五百羅漢修復業務2025／長泉寺閻魔王像一式修復業務2025／現代アートコレクションの「資産価値保全」に関する実態調査 2026（インテージ）
- ⑤共同発表：MASP DEMODAY2026（運営：仙台市 INTILAQ 東北イノベーションセンター 東北芸術工科大学 関 良樹／東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター 井戸 博章）

及川 規

- ①東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター・客員研究員
- ②文化財保存科学
- ③木材の機能を利用した文化財保存空間構築／文化財施設以外での文化財保存状況調査
- ④木材量・換気量と湿度安定性の関係調査
文化財保存状況調査①福島県南相馬市教育委員会文化財課（文化財収蔵施設 旧福浦小）②宮城県石巻市被災資料等収蔵施設（旧湊二小）③山形県山形市郷土資料収蔵所
- ⑤学会発表：森谷朱、芳賀文絵、嵯峨花佳、及川規「木材だけによる湿度制御の試み－空調機のない文化財施設での実施例－」『文化財保存修復学会第47回大会研究発表要旨集』pp. 260-261、文化財保存修復学会、富山、2025年

論文：及川規、森谷朱、嵯城花佳、芳賀文絵「空調等のない文化財保存空間における木材のみによる湿度制御の可能性」『文化財保存修復学会誌』69（印刷中）

- ⑥文部省科学研究費基盤研究C研究代表「木質材料の循環による文化財保存環境システム構築」2022-2025年度

文部省科学研究費基盤研究C研究代表「多木質空間の特異性を利用した自立型文化財保存環境システムの構築」2025-2027年度

柿田喜則

- ①株式会社東京文化財センター 代表取締役
- ②古典彫刻（主に仏像・神像）
- ③古典彫刻技法研究通しての現代表現への活用
- ④平櫛田中作 出羽海秀光立像 修復（日本相撲協会所蔵）／蓮華香台制作（光明院）／光明院五重塔飾り彫刻「燕7体の制作」（光明院）／木彫大国天制作（個人蔵）／灌仏盤新規模造事業（長福寺）
- ⑤企画・出品：グループ展「Lotus Line」（日本橋高島屋）
- ⑥「みずのを」第2号 専門家インタビュー記事掲載（文化財保存支援機構）

金原美奈子

- ①一般社団法人文化財科学研究センター 総括主任研究員
- ②環境考古学・植物考古学・木材解剖学
- ③遺跡から出土した植物遺体および木質遺物を対象として、考古植物学的分析および木材解剖学的同定を実施し、出土資料の保存・活用に資する基礎データの整備を行い、あわせて、漆器・木製品等の材質調査、報告書作成、比較資料の整理を通じて、文化財の保存修復と考古科学的研究の連携を図った。
- ④各遺跡出土の種実・木材・木製品・漆器等を対象として、実体顕微鏡および光学顕微鏡観察に基づく分類群同定、樹種同定および材質同定を実施した。種実については外部形態および表面構造の観察により分類群を決定し、木材については横断面・放射断面・接線断面の解剖学的特徴に基づき同定を行った。同定結果に基づく記録作成（同定一覧表、写真記録、図版作成等）を行い、分析データの体系的整理を実施した。また、出土植物遺体および木質遺物の整理、保存処理関連資料の確認、顕微鏡写真の照合、比較資料および文献との対比検討を行った。東北芸術工科大学文化財保存修復研究センターに関わる資料調査および研究協力を行い、漆器・木製品等の材質情報および保存状態に関する知見を共有し、保存修復実務への活用を図った。
- ⑤分析調査報告：令和6～7年度郡遺跡・倍賀遺跡発掘調査大型植物遺体同定分析業務委託／朝倉下下経田遺跡の土器付着炭化物同定／自然科学分析委託（西九条佐保線道路新設改良補助事業（R6繰越2調査地1）／埋蔵文化財調査業務（讃岐国府跡）に係る自然科学分析業務委託／令和7年度新居浜警察署埋蔵文化財調査に伴う理化学分析業務／令和7年度一般国道312号大宮峰山道路事業関連遺跡（老田遺跡・松田古墳群・三分井根遺跡）理化学分析業務／狭山池博物館展示品の自然科学分析調査／上深江木ノ町遺跡出土遺物自然科学分析業務／令和7年度府営農業競争力強化農地整備事業における埋蔵文化財調査に係る出土木製品理化学処理及び樹種同定業務 他多数

河崎衣美

- ①奈良県立橿原考古学研究所・主任研究員
- ②文化財保存科学
- ③石造文化遺産の保存科学的研究／コンクリート造戦争遺跡の保存研究／古墳出土金工品の材質技法研究
- ④北秋田市伊勢堂岱遺跡石材の保存科学的調査／カンボジア・アンコール遺跡バイヨン寺院の保存科学的調査／エジプト・サッカラ遺跡岩窟墓壁画の保存科学的調査／瀬戸内町奄美大島要塞跡の材質調査
奈良県藤ノ木古墳出土金工品の保存科学的調査
- ⑤学会発表：河崎衣美、松井敏也、鼎丈太郎、鼎さつき、内田正幸「西古見砲台跡（奄美大島要塞跡）に

使用された色材のオンサイト分析」『日本文化財科学会第42回大会研究発表要旨集』日本文化財科学会、pp. 166-167、2025年

講演：徳之島町文化会館「亜熱帯地域における石造文化遺産の保存」2025年12月5日

奈良教育大学「戦争遺産の地域保存に向けた文化財科学的アプローチ」日本文化財科学会シンポジウム、2026年2月22日

公開講座：東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター「アンコール遺跡の保存科学」2025年12月13日

小林 啓

①九州歴史資料館・企画主査

②文化財保存科学

③トレハロース含浸処理法を用いた海底遺跡出土遺物の経年変化に係る研究／X線CTを用いた保存処理効果の比較研究

④福岡県古賀市船原古墳出土金属製品の調査と保存処理

⑤学会発表：Akira Kobayashi・Kouji Ito・Yumi Yasuki・Setsuo Imazu「Comprehensive study on the conservation treatment of shipwrecks using trehalose」『Proceedings of the 16th Conference of the ICOM-CC Wet Organic Archaeological Materials Working Group, Goteborg, 2025』Wet Organic Archaeological Materials、pp. 281-288、2025

学会発表：小林啓・安木由美・伊藤幸司「トレハロース法による元寇沈没船隔壁板の保存処理と処理後の経年変化」『第9回東アジア文化遺産保存学会講演要旨集』東アジア文化遺産保存学会、pp. 140、2025年

公開講座：東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター「X線で調べる護る－博物館の保存科学－」2025年11月15日

論文：小林啓「トレハロース含浸処理法を用いた木質遺物の経年変化に係る研究」『文化財保存修復研究センター紀要』東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター、pp. 16-26、2025年

報告書等：小林啓「九州歴史資料館のX線CT－導入から十五年間の動向－」『九州歴史資料館研究論集 51』九州歴史資料館、2025年（掲載予定）

中村力也

①宮内庁正倉院事務所 保存課長

②保存科学

③古代染織品・染料の機器分析研究

④正倉院染織品の繊維・染料分析

⑤学会発表：中村力也・岡田文男・黒川清夏「遼代貴族墓から出土した馬用帯の有機質遺物の材質と技法」『日本文化財科学会第42回大会発表要旨集』日本文化財科学会、2025年

講演：中日文化センター栄「正倉院と蘭奢待」2025年10月4日

成瀬正和

①東北芸術工科大学文化財保存修復学科非常勤講師

②保存科学・考古化学・美術史化学

③文化財に用いられた顔料の研究／東アジア古代黄銅製品についての研究／伎楽面の使用材料を含む総合的研究

⑤論文：成瀬正和「正倉院の宝物収蔵庫」建築研究協会誌39、pp. 33-41、2025年

学会発表：村上智見・成瀬正和・鶴真美ほか「ウズベキスタン共和国出土壁画の調査－クルゴン・テパ遺跡とクルドル・テパ遺跡－」日本文化財科学会第42回大会研究発表要旨、pp. 160-161、2025年

学会発表：柳成煜・成瀬正和ほか「モンゴル17世紀寺院出土塑像の彩色材料的研究①」日本文化財科学会第42回大会研究発表要旨、pp. 158-159、2025年

- 報告：成瀬正和「正倉院宝物に見る黄銅利用とその背景をめぐって」学振科学研究費補助基礎研究A「黄銅（鍮石・真鍮）の歴史とその伝来の道 “Brass Road” の研究」2025年度研究報告、pp. 7-20、2025年
- ⑥学振科学研究費補助基礎研究A 研究分担者「黄銅（鍮石・真鍮）の歴史とその伝来の道 “Brass Road” の研究古代」2022-2025年度
- 文化庁・古墳壁画の保存活用に関する検討会委員／宮内庁正倉院事務所・伎楽面修理委員会委員

村串まどか

- ①明治大学理工学部・助教
 - ②文化財科学・考古化学・無機文化財の材質調査
 - ③非破壊オンサイト分析によるガラス製品等の文化財調査
 - ④国内外のガラス製品等の科学的調査
 - ⑤ポスター発表：村串 まどか、久永 雅宏、岩木 智絵：藤枝市・若王子古墳群出土斑点文トンボ玉の非破壊オンサイト化学組成分析，文化財保存修復学会第47回大会，2025年6月14日（富山国際会議場）
- ポスター発表：村串 まどか Madoka Murakushi：日本出土斑点文トンボ玉の非破壊オンサイト分析とその考察 Non-destructive on-site analysis and Interpretation of Dot-Patterned Eye Beads Excavated in Japan，第9回東アジア文化遺産保護学会国際学術シンポジウム 2025 The 9th International Symposium of Society for the Conservation of Cultural Heritage in East Asia, 2025. 10. 30-31（天府国際大酒店 Tianfu International Hotel Complex Rongqing Courtyard）
- 論文：村串 まどか、田名部 直仁、中村 和之：青森県佐井村教育委員会蔵の青玉の蛍光X線分析，『函館大学論究』，57輯1号，103-111，2025.

安木由美

- ①松浦市教育委員会文化財課
- ②文化財保存科学
- ③松浦市立埋蔵文化財センターにおける展示環境・方法の改善
- ④松浦市立埋蔵文化財センター収蔵展示室の空気質調査／鷹島海底遺跡出土遺物の放散ガス調査／鷹島海底遺跡出土遺物の保存処理
- ⑤学会発表：安木由美、松井敏也、山崎正彦「松浦市立埋蔵文化財センターにおける収蔵展示室内の空気質改善に関する検討」『日本文化財科学会第42回大会』p30-31、日本文化財科学会、福岡、2025年

山田 修

- ①奈良県立大学 教授
 - ②文化財の活用
 - ③文化財の3D計測／3Dデータを用いた模造制作／主に視覚障害者を対象にしたさわれる立体物の研究
 - ④正倉院の宝物における模造調査／東京都庭園美術館におけるラリック作品の模造制作／JR西日本の特急「まほろば」における文化財のレプリカ展示／奈良時代の梵鐘の模造制作／なら歴史文化芸術村におけるワークショップ（木彫、鋳造）／當麻寺仁王像（吽形）の3D計測及び模型制作
 - ⑤ポスター発表：山田 修（奈良県立大学）宮崎 甲（千葉大学）三枝 一将（東京藝術大学）松本 隆（沖縄県立芸術大学）米沢 玲（東京文化財研究所）藤曲 隆哉（合同会社 藤白彫刻研究所）原 浩史（慶應義塾志木高等学校）「「木造」を原型とする「鉄造」阿弥陀如来像の3Dデータによる形状の差異」，文化財保存修復学会第47回大会2025年6月14日
- 講演：「仏像を科学する」伏見みやび学級 奈良市伏見公民館2025年10月15日
- 講演：「デジタル技術が支える文化財の活用 ～仏像のレプリカを中心に～」河内長野市くろまる塾 2026年3月9日

大和あすか

- ①国文学研究資料館研究部特任助教
- ②文化財科学
- ③古典籍・近世彩色資料を中心に、材質・技法研究を実施した。
- ④国文学研究資料館貴重書技法材料調査／板橋区立美術館資料技法材料調査／那珂川町馬頭広重美術館資料技法材料調査／茨城県立歴史館資料技法材料調査
- ⑤論文：「錦絵に用いられた色材とその変遷について」（『色彩学』4巻3号、pp. 113-116、2025年8月）
分担執筆：「色材から考えるチリメン絵制作の時期」（『書物学 第32巻 チリメン絵 ゴッホを魅了した知られざる出版文化』、pp. 35-43、勉誠社、2025年11月）
公開講座：「錦絵を彩った色材の変遷」（文化財保存修復研究センター 公開講座、2025年10月18日、オンライン）
口頭発表：「江戸後期における色材流通の変遷と浮世絵版画への影響」（ポストデジタルデータ化の東アジア文献研究－超域と越境の展望、2025年7月13日、東洋文庫）
口頭発表：「錦絵に用いられた色材とその変遷について」（日本色彩学会関東支部2025年度シンポジウム－江戸の色を素敵に探る－、2025年4月12日、東京家政学院大学／ハイブリッド）
ポスター発表：大和あすか、一宮八重、西田典由「近世日本彩色資料に用いられた黄色色材の判別方法について」（文化財保存修復学会第47回大会、ポスター発表、2025年6月14日、富山国際会議場）
大和あすか、松原哲子「既知の和紙サンプルを用いた類似性と繊維原料・填料の評価に関する基礎的検証」（国文研DDHプロジェクト第1回国際研究集会「古典テキストの最前線－夢の書庫を開く－」、ポスター発表、2025年12月11日、国文学研究資料館）

吉村和久

- ①九州大学アイソトープ統合安全管理センター学術共同研究員／九州大学名誉教授
- ②考古化学・水圏地球化学
- ③イオンクロマトグラフィーによる歯のフッ素濃度定量法の最適化
- ④ベトナム・国内遺跡から出土した歯試料のフッ素分析共同研究（東北芸術工科大学・青野友哉教授および新潟福祉大学・澤田純明教授）
- ⑤学会発表：板橋 悠・岡崎 健治・大藪 由美子 吉村 和久・西藤 清秀，歯の酸素・ストロンチウム同位体比と 井戸水、湧水の酸素同位体比の比較による パハレーンの古墳被葬者の出身地推定，地球惑星科学連合大会2025, HTT16-14, 2025年5月23日，幕張
学会発表：藤原啓人・宮崎義信・天日美薫・松岡史郎・吉村和久，河川から沿岸域に至るまでのFeの酸化状態，日本分析化学会第74年会，2024年9月23－26日，北海道大学
学会発表：吉村和久・渡辺 修，埋没化石骨フッ素濃度と化石骨周辺の地下水流動，日本洞窟学会第51回大会，10月11－13日，秋吉台科学博物館
講演：吉村和久（記念講演会（公開講演会）オーガナイザー），特別天然記念物秋芳洞の再生に向けて－照明植生の現状とその対策，日本洞窟学会第51回大会，10月11－13日，秋吉台科学博物館
論文：吉村和久・藤川將之・木村 颯・能登征美，山口県秋芳洞地下水の酸素・水素安定同位体比とカルシウムイオン濃度，洞窟学雑誌，49, 19-38（2024）。（実際の刊行は2025年6月）
論文：吉村和久，洞窟学雑誌に見る物理学・化学分野の歩みと展望，洞窟学雑誌 日本洞窟学雑誌創立五十周年記念誌，60-65（2025）。
論文：渡辺修・吉村和久・八木浩司，鶴岡市西目地区で発生した地すべり現場での水文調査結果と周辺の地下水流動状況に関する一考察，J. of the Jpn. Landslide Soc., 62(5), 217-223（2025）
報告書：美祢市教育委員会，2025. 特別天然記念物秋芳洞天然記念物再生事業報告書，200p.
- ⑥文部省科学研究費基盤研究(A)研究分担「パハレーン・ティロス文化の古墳に葬られた集団の特性と構成に関する総合的研究」2022-2026年度
文部省科学研究費基盤研究(B)研究分担「洞窟に記録された災害イベントとその島嶼文化・環境への影

響に関する学際的研究」2025-2028年度

文部省科学研究費基盤研究(C)研究分担「ブルーカーボン生態系の拡大を目的とした藻場に対する鉄の供給メカニズムの解明」2023-2025年度

米田奈美子

①フリーランス・油絵保存修復

②修復材料および技術研究

③油絵作品調査・修復／材料研究

⑤講演会：「西洋絵画修復家の視点から佐藤昌弘先生作品を読む」酒田市美術館 2026年2月27日

論文著者略歴

令和8年4月1日現在

杉山 恵助 SUGIYAMA Keisuke

現職／東北芸術工科大学 芸術学部 歴史遺産学科教授

学歴／東京学芸大学教育学部情報環境科学課程文化財科学専攻卒業

専門／装潢文化財修復

著書・論文／「上杉文書の形状と課題－冊子装の解体作業から見る装丁の来歴と保存方針－」『上杉文書調査報告書 第1分冊（文書編1）』

楠 京子 KUSUNOKI Kyoko

現職／大英博物館 保存修復部 東洋絵画修復部門 シニアコンサバター

学歴／東京藝術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻修士課程修了

専門／装潢文化財修復

著書・論文／‘Kitagawa Utamaro’s “Standing Courtesan Reading a Letter” : the collaborative conservation of a master scroll painting and its silk mount’ 『Journal of the Institute of Conservation 44(1)』

上田 ターニャ UYEDA Tanya

現職／シアトル美術館 館内保存修復センター 東洋絵画修復室長

学歴／東京藝術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻修士課程修了

専門／装潢文化財修復

著書・論文／‘Reuse and Recycling : Implications in Japanese Painting Conservation’ 『Ars Orientalis 52』

北野 博司 KITANO Hiroshi

現職／東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター長・教授

学歴／富山大学人文学部卒業

専門／日本考古学

著書・論文／『モノと技術の古代史 陶芸編』吉川弘文館（共著）、「石垣秘伝書にみる勾配の視覚化と相互比較」『令和2年度文化財保存修復研究センター紀要』

小林 啓 KOBAYASHI Akira

現職／九州歴史資料館

学歴／東北芸術工科大学大学院修士課程修了

専門／保存科学

著書・論文／Comprehensive study on the conservation treatment of shipwrecks using trehalose
『Proceedings of the 16th Conference of the ICOM-CC Wet Organic Archaeological Materials Working Group, Goteborg, 2025』

研究員一覧

令和8年4月1日現在

○センター長

北野 博司 教授／考古学

○センター研究員

伊藤 幸司 教授／文化財保存修復研究センター／保存科学
笹岡 直美 教授／文化財保存修復研究センター／古典彫刻修復
元 喜載 准教授／文化財保存修復研究センター／東洋絵画修復
杉山 恵助 教授／文化財保存修復コース兼任／東洋絵画修復
中右恵理子 教授／文化財保存修復コース兼任／西洋絵画修復
宮本 晶朗 准教授／文化財保存修復コース兼任／古典・近現代彫刻 地域文化財保存修復
楊 曼寧 講師／文化財保存修復コース兼任／保存科学
青野 友哉 教授／歴史遺産コース兼任／考古学
佐藤 祐輔 准教授／歴史遺産コース兼任／日本考古学
佐藤 真依 嘱託研究員／文化財保存修復研究センター／古典彫刻修復
野場 知聡 嘱託研究員／文化財保存修復研究センター／保存科学

○客員研究員

石崎 武志 遺跡保存
井戸 博章 文化財保存修復彫刻
及川 規 文化財保存科学
柿田 喜則 株式会社東京文化財センター／古典彫刻修復・制作
金原美奈子 一般社団法人文化財科学研究センター／環境考古学・植物考古学・木材解剖学
河崎 衣美 榎原考古学研究所／文化財保存科学
佐伯 史子 新潟医療福祉大学自然人類学研究所／形質人類学
小林 啓 九州歴史資料館／文化財保存科学
武田 恵理 文化財保存修復スタジオノア／西洋絵画修復
中村 力也 宮内庁正倉院事務所／保存科学
成瀬 正和 保存科学・考古化学・美術史化学
山田 修 奈良県立大学／文化財の活用
大和あすか 国文学研究資料館／文化財科学
吉村 和久 九州大学アイソトープ統合安全管理センター／考古化学・水圏地球化学

令和7年度
東北芸術工科大学 文化財保存修復研究センター紀要

令和8年7月31日発行

東北芸術工科大学
文化財保存修復研究センター

〒990-9530 山形県山形市上桜田三丁目4番5号

TEL 023-627-2204

FAX 023-627-2303

E-mail iccp@aga.tuad.ac.jp

ホームページ <http://www.iccp.jp/>